※令和４年度以降入学生用

学校番号	219

令和４年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次 （体育科）
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、用具用材の違いや筆遣いによるさまざまな表現について学びましょう。
・５書体や仮名を学ぶことを通して、筆の弾力を使いこなし、感性を高め、表現と鑑賞の基礎的・基本的な能力を伸ばすことを目指しましょう。
・身近に飾れる個性豊かな書作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てましょう。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して，生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，書写能力の向上を図り，表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし，書の伝統と文化についての理解を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	【臨書・倣書・創作】 創意工夫をいかした書表現をめざし、必要な知識と技能を身につけている。 【鑑賞】書の歴史理解し、特徴を分析し、美しさを創造的に味わっている。 【評価の方法】 課題進度状況　学習の取り組み状況（観察・聴取） 学習プリント　ノート	【臨書・倣書・創作】 書作品に必要な要素を知覚し、それらを感受しながら、臨書・倣書・創作の書表現を工夫し、表現意図を持っている。また、グループ活動においても、意見交流ができている。 【鑑賞】 書作品に必要な要素を知覚し、それらを感受しながら、価値を考え、書に対する理解を深め、美しさを創造的に味わっている。また、グループ活動においても、意見交流ができている。 【評価の方法】 学習の取り組み状況（観察・聴取）	書に関心を持ち、臨書・倣書・創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。 【評価の方法】 学習の取り組み状況（観察・聴取）学習プリント　ノート授業態度
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書写と書道	・5書体の学習 基本・臨書・鑑賞 1文字創作作品制作 相互鑑賞会	a:書写と書道の違いと密接な関連について理解している。姿勢や執筆法の基本を身に付けている。書写と書道の類似点・相違点を理解し、多様な線質による表現の違いを感じ取っている。 b:書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 c: 書写と書道の違いと密接な関連について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。	・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート
	漢字の書(5書体)	・5書体の学習 基本・臨書・鑑賞 1文字創作作品制作 相互鑑賞会	a: 様々な用具用材の違いを理解している。筆の弾力を利用し、行書の基本的な用筆法を身に付け表している。 b:様々な用具用材の違いを理解し、表現を工夫している。互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 c: 各書体の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート
2学期	漢字仮名交じりの書	・漢字仮名交じりの書 作品制作(顔彩使用) 相互鑑賞会	a: 作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 b:自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 c: 創作活動について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。	・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	篆刻	・姓名印の制作 篆書	a:趣のある印を制作するための印刀を扱う技法を身に付け表している。 b:篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c:名前の篆書体を調べて書体の変遷について関心を持ち、印の表現活動に、意欲的に取り組もうとしている。方寸の世界のおもしろさを味わっている。	・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート
	漢字の書(楷書)	・楷書による学習 基本・倣書・鑑賞 校歌合作作品制作 相互鑑賞会	a: 筆の弾力を利用し、楷書の基本的な用筆法を身に付け表している。 b:用筆法による表現の幅を理解し、表現を工夫している。古典のよさや美しさを味わっている。互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 c: 楷書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート
3学期	仮名の書	・仮名による学習	a:基礎的・基本的な連綿や散らし書きの技法を身に付け表している。 b:仮名の書の美と基礎・基本的な技法を学び、表現を工夫している。日本の書の伝統と文化について幅広く理解し、仮名の書のよさや美しさを感じ取っている。 c:仮名の歴史やその美（連綿、散らし書きなど）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート
	鑑賞	・芸術祭 展示 発表 相互鑑賞	a:書表現をするための技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 b:創造性豊かな展示や発表の工夫をしている。互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 c: 作品を意欲的・積極的に展示鑑賞している。	・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度